



アリアケジャパン株式会社

2027年3月期 第1四半期

決算説明会資料

2026年8月7日

アリアケジャパン株式会社（証券コード2815）

2027年3月期 第1四半期 決算概要

連結

連結売上高

159.9億円

対前年 +3.8%

対計画 -2.1%

連結営業利益

25.5億円

対前年 -2.2%

対計画 +3.4%

連結営業利益率

15.9%

対前年 -1.0p

対計画 +0.8p

連結純利益

20.9億円

対前年 -11.3%

対計画 -10.8%

- ☐ 国内販売は順調で計画以上だが中国の不振が影響し、連結売上高は増収となるも計画を下回る
- ☐ 営業利益額、営業利益率は、対前年減益となるも計画を上回る
- ☐ 純利益減は、営業利益、為替差益等の減少、子会社配当金分の税引きの影響

アリアケジャパン 単体

単体売上高

114.0億円

対前年 +2.5%

対計画 +1.3%

単体営業利益

17.2 億円

対前年 -4.7%

対計画 +9.4%

単体営業利益率

15.1%

対前年 -1.1p

対計画 +1.1p

単体純利益

18.6億円

対前年 -8.7%

対計画 +20.3%

- 国内販売は順調 前期通期が対前年+1.4%に対し、今期1Qは+2.5%、対計画でも+1.3%
- 内訳は、数量の伸び+1.6%、単価の伸び+0.9%
- 外食（対前年+2.4%）・B2B2C（同+7.9%）が順調 CVSは前年同等
輸出増（同+32%）は当期の一時的要因
- 営業利益額、営業利益率は、想定内 減益となるも計画を上回る

2027年3月期 第1四半期 決算概要

子会社

売上高

45.9億円

対前年 +7.2%

対計画 -9.7%

営業利益

8.3億円

対前年 +3.6%

対計画 -7.0%

営業利益率

18.1%

対前年 -0.6p

対計画 +0.4p

純利益

2.2億円

対前年 -28.2%

対計画 -71.7%

- 好調な欧州で不動産不況の継続により減退する中国をカバーし、為替効果も加わり増収・増益 計画は下回る
- ベルギーの利益改善は順調に進行中（対前年+76%） 連結調整前では黒字化
- フランスは営業利益額（対前年+119%）、営業利益率（対前年+16.8pの31.7%）共に改善
- オランダは対前年+22.7%と売上は伸長も、原料肉の高騰により営業利益は若干低下し18.7%（計画内）
- 中国の営業利益率は、減収も経費節減により、前期21.0%が20.1%と僅かな低下に留める
- 純利益の減は連結調整によるもの（子会社配当金の税引きの影響）

業績見通しと外部要因

連結業績見通し

- ☐ 今期業績見込みの修正は無し
- ☐ アジアの不調を好調な国内、欧州でカバーし、売上は計画通りを見込む
- ☐ 中東情勢、為替等外部要因の先行きは不透明だが現時点では営業利益も計画通りと予測

外部要因の影響と対応

- ☐ 令和8年熊本地震による当社九州工場の生産、売上・営業利益等業績に対する影響は軽微
- ☐ AJ単体の為替の影響 直接的原料購入コスト増を対前年4億円/年折込済 1Qは対前年+1.2億円
円安による原料購入コスト増に対しては、デリバティブ取引で抑制（営業外収益）
1Q連結時の子会社の業績に対する影響は、売上+4.9億円、営業利益は+0.8億円（為替中立との差）
- ☐ 中東情勢によるAJ単体の包材費の上昇 予算では対前年+8億円見込むが1Qでは+0.5億円
通年でも予算を下回ると予想 包材値上がり分の価格転嫁は現時点では未定、業界動向見て判断
- ☐ 2027年4月からの食品消費税減税を想定した営業施策を実施
 - ・CVS惣菜・FF、スーパーデリカ、弁当・テイクアウト向け製品の拡販
 - ・B2B2C製品の拡販
 - ・食品メーカーへの営業強化
 - ・外食顧客とのコミュニケーションによる打ち手の検討
- ☐ 中国の外食不調は継続 外食以外でのカバーを行う

業績見通し アリアケジャパン単体

売上

- ☐ 外食の案件獲得が順調 特に西日本エリアの売上高が上積みできている
- ☐ CVSは、前年並みを維持 今後は、B2B2C、カウンター回り向け製品に注力する
- ☐ 食品メーカーは値上げ効果が一巡し1Qは対前年－0.2%だったが、節約志向で加工食品は堅調と予想
営業強化し売上増を図る
- ☐ 新規事業のペットフードは、6月総会で定款に追加 生産ラインを整備し10月から製造開始予定
ODM製品の拡大を目指す 小売・流通に提案を継続中
- ☐ 製品開発体制強化により既存領域の決定案件数、決定品の売上高（見込み）が増加
決定売上高は、前期1Qの23%増
- ☐ 足元4～7月は順調 上期は計画を上回る売上高で推移見込み

利益改善

- ☐ 営業の利益改善（価格改定、リニューアル）は、今期寄与額約7億円の74%達成
- ☐ 工場のコストダウンによる経費削減は、14億円計画に対し40%達成
- ☐ 原材料、包材の値上げ状況、業界動向踏まえ追加の価格改定を検討

中国

- ☐ 2024年度下期から始まった不動産不況による外食産業の売上不振は継続 短期の回復は困難
- ☐ 節約志向で即席麺は好調 新規取引のローカルCVSや会員制スーパーは伸長
- ☐ 中国国内の小売り、ペットフード原料への拡販、韓国市場への展開によるカバーを検討
- ☐ 徹底的な経費節減により利益減を圧縮

台湾

- ☐ 中東情勢の影響で消費は低迷気味 一部外食顧客の不調も加わり、売上は低調
- ☐ ラーメン業界は飽和感あるが、ファミレス、焼肉、うどん、鍋など他業態は伸長 それらの日系外食も好調
- ☐ 中東情勢による包材、原材料高は若干あるが、高営業利益率は維持

インド ネシア

- ☐ 日本（AJ）向け、台湾向け原料輸出は減少するも、国内販売、輸出が好調
- ☐ マレーシア、ドバイなどムスリム圏に進出する日系外食からの引き合いが多い
- ☐ シンガポール向け輸出申請が認可されたので営業を強化する
- ☐ 包材、LNGの高騰はあるが、営業利益率は維持

ベルギー

- ☐ 欧州域内売上が好調 今後も欧州域内拡販優先で対応、AJ向けは実需に合わせ調整（輸出減）
- ☐ オーガニックブロスの販売で成果 下期に販売増（受注済）
- ☐ UHT製品は自社ブランドの小売採用拡大と共にODM製品で1品成約、複数顧客と商談中
- ☐ 売上高、生産高増により、利益改善進み黒字化（連結調整前）

フランス

- ☐ 欧州域内販売に注力 AJ向けは実需に合わせ調整（輸出減）
- ☐ 生産高減により連結調整前は営業利益減となるが連結調整により維持見込み
- ☐ フードサービス営業を増員し、販売体制強化（9月）

オランダ

- ☐ インダストリー向けミートパウダーの売上が堅調
- ☐ 牛肉原料の高騰により営業利益率は低下、価格改定済で計画に折込み想定内
- ☐ 2028年稼働に向けて新工場計画を進行中

企業価値向上の取り組み 2026年60周年を起点に2030年度に向けて

基本 方針

- ☐ ROEを持続的に向上させ、PBRを高める
2028年度 ROE8.1% 2030年度 ROE 9 %超
- ☐ 明確な成長路線を確立し、PERを高める
- ☐ 利益率を維持しながら売上増を図り純利益を積み上げ

事業 戦略

- ☐ 2030年度 連結売上高1000億円達成を目指す
- ☐ 飛び地領域への展開 Ariake4.0 への挑戦
- ☐ 適時適切な投資
- ☐ 開発能力の増強 イノベーション創出のしくみ・知財戦略の実践
- ☐ 製品価値の向上 優位性のブラッシュアップ
- ☐ DXによる生産性向上

事業戦略 具体的 目標

- ☐ 下記を既存計画へ上乗せ 合計110億円/2030年度
- ☐ ペットフード事業を軌道に乗せる 売上高目標30億円/2030年度 達成状況で専用工場建設
- ☐ 既存・隣接製品の売上上乗せ 売上高目標40億円/2030年度
- ☐ 中国は、韓国市場、小売り製品、ペットフード関連事業で既存減をカバー
売上高目標20億円/2030年度
- ☐ 東南アジア市場開拓 輸出からのスタート 売上高目標20億円/2030年度

企業価値向上の取り組み 2026年60周年を起点に2030年度に向けて

資本戦略 の最適化

- ☐ 株主還元の強化
- ☐ DOE4%以上に引き上げ、累進配当(*)による安定配当、資本積み上がりの抑制(*記念配当除く)
- ☐ 機動的自社株買いによる資本の圧縮
- ☐ 政策保有株縮減の検討（2028年度 目標10%以下）

ガバナンス 整備

- ☐ 2025年度 任意の指名・報酬委員会設置
- ☐ 2026年度 社内取締役6名（内新任2名）社外取締役6名（内新任2名）
12名中3名女性取締役（25%） 新体制スタート
- ☐ 2030年度まで到達目標 社外取締役過半数、女性取締役30%以上

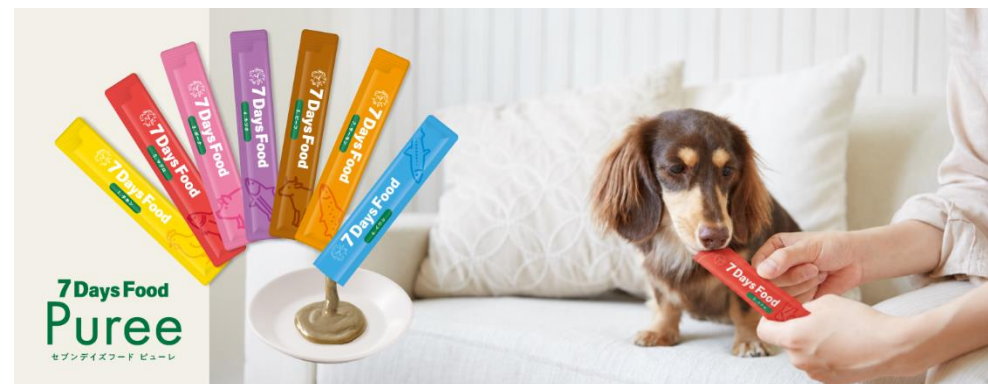
人的資本 ・ サステナ ビリティ

- ☐ 経営戦略と連動した人事戦略を実践
- ☐ 60周年を起点としたインナーブランディングによる組織風土改革
- ☐ サステナビリティ経営の推進
- ☐ 社内外への発信力の強化（IR活動、統合報告書等）

ペットフード事業 「食」と「健康」の知見を融合し、ペットフードを共同開発

愛犬用おやつ「7Days Food Puree」発売予定

アニコム パフェ株式会社との共同開発により、アニコムグループが展開する食ブランドの新シリーズ「7Days Food Puree」を発売予定。
アニコムグループの健康知見とアリアケジャパンの食技術を融合し、素材のおいしさを生かしたうまみブイヨン仕立ての愛犬用おやつを開発。
日々の食事にトッピングしやすいスティック形状を採用し、7種類のたんぱく源をローテーションして楽しめる設計とした。毎日違ったたんぱく源をおいしく摂取しながら、愛犬の毎日の食事を健康的にサポートする。

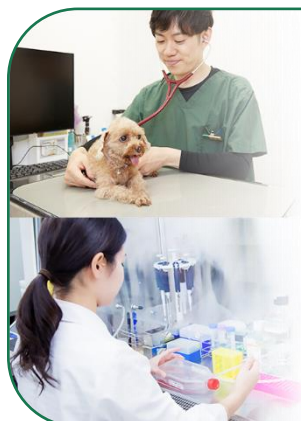


※本商品は開発中のため、商品仕様・デザイン等は変更となる場合があります。

「健康の知見」

- ・保険と予防の両面から蓄積した健康知見を活用し、食を通じてどうぶつの免疫を育む取り組み
- ・どうぶつとの暮らし全体を支援するグループ横断のサービス基盤

anicom



「食の技術」

- ・60年にわたり培った天然だし抽出技術
- ・天然素材のおいしさを引き出す設計力・調味力
- ・一貫生産・FSSC/HACCPに基づく品質体制

 アリアケジャパン株式会社



食と健康の接点に新たな価値を
愛犬・愛猫の健やかな毎日に寄り添う新シリーズを展開予定

業 績 デ ー タ

2027年3月期 第1四半期決算（売上・利益一覧）

項目	実績	前年	前年増減	前年比	計画	計画増減	計画比
連結売上高	159.9	154.1	+5.8	+3.8%	163.3	-3.5	-2.1%
連結営業利益	25.5	26.1	-0.6	-2.2%	24.7	+0.8	+3.4%
連結経常利益	29.8	32.6	-2.8	-8.5%	31.9	-2.1	-6.6%
連結純利益	20.9	23.5	-2.7	-11.3%	23.4	-2.5	-10.8%
単体売上高	114.0	111.2	+2.7	+2.5%	112.5	+1.5	+1.3%
単体営業利益	17.2	18.0	-0.8	-4.7%	15.7	+1.5	+9.4%
単体経常利益	26.7	29.2	-2.5	-8.6%	22.2	+4.5	+20.2%
単体純利益	18.6	20.4	-1.8	-8.7%	15.5	+3.5	+20.3%

※単位は億円 四捨五入して記載
前年比・計画比は%表記

連結営業利益率15.9% 対前年－1.0p 対計画＋0.8p
単体営業利益率15.1% 対前年－1.1p 対計画＋1.1p

[グループ別] 第1四半期 売上高 (対前年実績)

※子会社は連結調整後

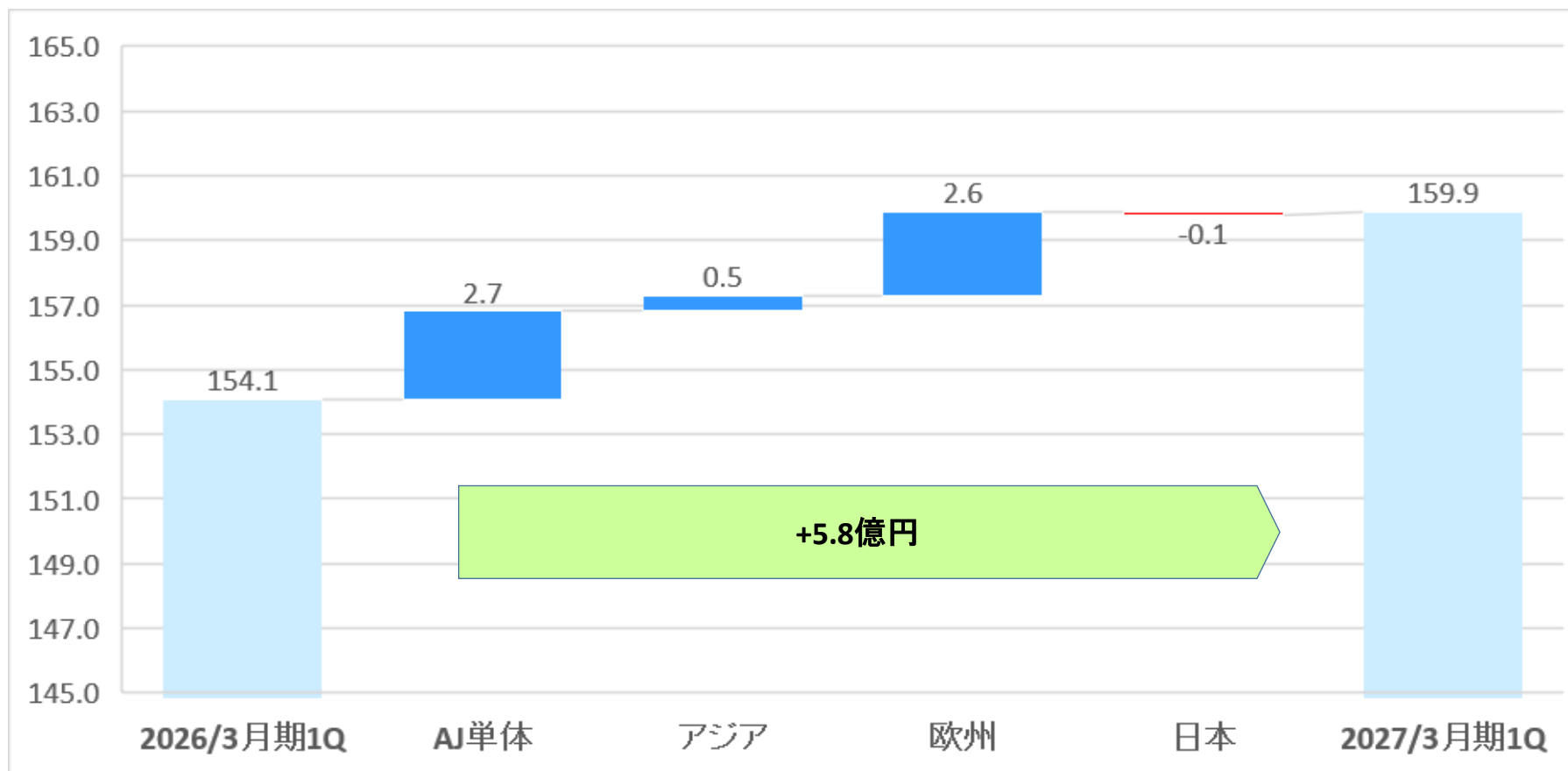
(単位：億円)

	2027/3期 1Q (A)	2026/3期 1Q (B)	増 減 (A-B)	%	為替中立
アリアケジャパン	114.0	111.2	2.7	2.5%	2.5%
子会社 計 ※	45.9	42.9	3.0	7.2%	△ 4.3%
アジア	23.2	22.8	0.5	2.1%	△ 8.3%
欧州	22.0	19.3	2.6	13.6%	0.4%
日本	0.7	0.8	△ 0.1	△ 5.6%	△ 5.6%
連結	159.9	154.1	5.8	3.8%	0.6%

EUR	183.41	162.08	21.33
人民元	23.11	20.59	2.52
台湾ドル	4.99	4.51	0.48
ルピア	0.0094	0.0091	0.0003

[グループ別] 第1四半期 売上高 (対前年実績)

(単位：億円)



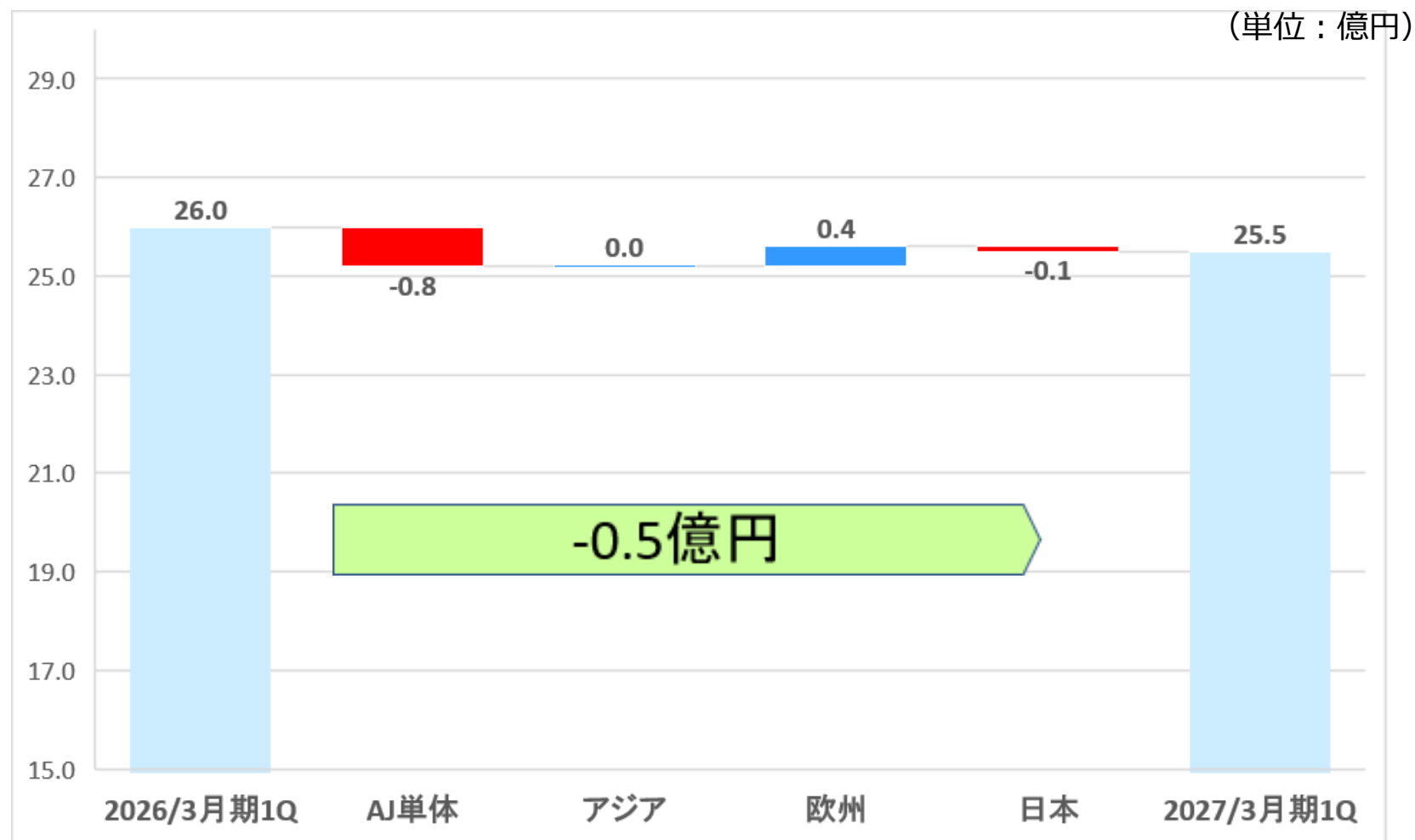
[グループ別] 第1四半期 営業利益 (対前年実績)

※子会社は連結調整後

(単位：億円)

	2027/3期 1Q (A)	2026/3期 1Q (B)	増 減 (A-B)		
				%	為替中立
アリアケジャパン	17.2	18.0	△ 0.8	△ 4.7%	△ 4.7%
子会社 計 ※	8.3	8.0	0.3	3.6%	△ 6.2%
アジア	5.4	5.4	0.0	0.3%	△ 9.9%
欧州	3.0	2.5	0.4	15.5%	2.1%
日本	△ 0.1	0.1	△ 0.1	-	-
連結	25.4	26.0	△ 0.5	△ 1.6%	△ 4.6%

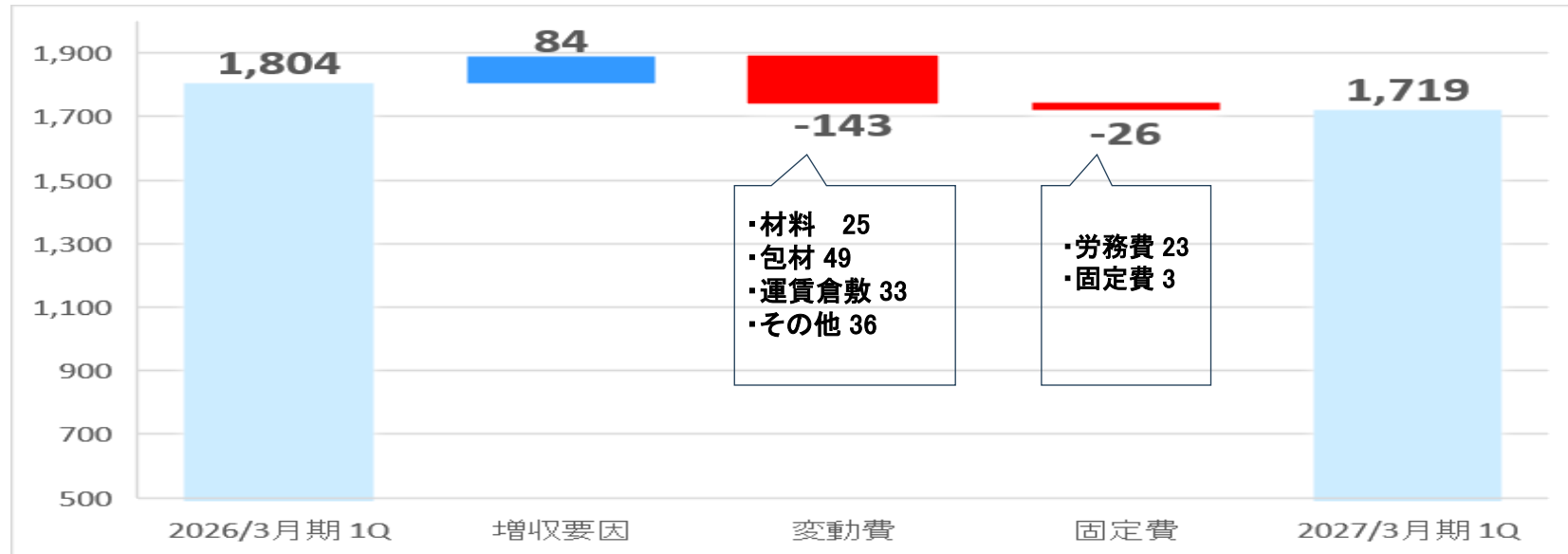
[グループ別] 営業利益（対前年実績）



【前期比較】 単体業績の概要〔利益変動要因〕

■ 営業利益 1,719百万円 前年比▲85百万円（▲4.7%）

（単位：百万円）



■ 経常利益 2,667百万円 前年比 ▲251百万円（▲8.6%）

（単位：百万円）

増加要因	ディバティブ評価損の減	103
	有価証券利息他	46
	配当金	62
減少要因	営業利益の減	△ 84
	為替差益の減少	△ 374
	その他	△ 4
	合計	△ 251

[単体] 第1四半期 カテゴリー別売上高比率及び増減

カテゴリー	売上高比率 2026年度1Q	前年比増減	売上高比率 2025年度1Q
食品メーカー	19.7%	-0.2%	20.2%
外食	41.3%	+2.4%	41.3%
CVS・中食・スーパー	25.2%	+0%	25.8%
B2C(B2B2C)	11.3%	+7.9%	10.8%
輸出(台湾・韓国等)	2.5%	+32.0%	1.9%
合計	100%	+2.5%	100%

2027年3月期 第1四半期 子会社の売上・営業利益

会社名	売上 (億円)	前年比 (%)	営業利益 (億円)	前年比 (%)	営業利益率 (%)	前年比 (ポイント)
中国	14.2	-5.2%	2.9	-9.7%	20.1	-0.9p
台湾	8.2	+17.7%	2.5	+16.1%	30.0	-0.4p
インドネシア	0.9	+5.0%	0.1	-11.6%	16.6	-3.1p
アジア小計	23.2	+2.1%	5.4	+0.3%	23.4	-0.5p
フランス	1.9	+2.8%	0.6	+118.8%	31.7	+16.8p
ベルギー	6.9	+2.2%	-0.1	+76.2%	-1.5	+4.9p
オランダ	13.2	+22.7%	2.5	-9.3%	18.7	-6.6p
欧州小計	22.0	+13.6%	3.0	+15.5%	13.4	+0.2p
日本他	0.7	-5.6%	-0.1	-31.8%	4.1	-2.3p
子会社合計	45.9	+7.2%	8.3	+3.6%	18.1	-0.6p

※単位は億円 四捨五入して記載 前年比は、%表記

2027年3月期 第1四半期 子会社の売上・営業利益(為替中立)

会社名	売上 (億円)	前年比 (%)	営業利益 (億円)	前年比 (%)	営業利益率 (%)	前年比 (ポイント)
中国	12.7	-15.5%	2.5	-19.5%	20.1	-0.9p
台湾	7.4	+6.3%	2.2	+5.0%	30.0	-0.4p
インドネシア	0.8	+1.7%	0.1	-14.4%	16.6	-3.1p
アジア小計	20.9	-8.3%	4.9	-9.9%	23.4	-0.5p
フランス	1.6	-9.2%	0.5	+93.4%	31.7	+16.8p
ベルギー	6.1	-9.7%	-0.1	+79.0%	-1.5	+4.9p
オランダ	11.7	+8.4%	2.2	-19.8%	18.7	-6.6p
欧州小計	19.4	+0.4%	2.6	+2.1%	13.4	+0.2p
日本他	0.7	-5.6%	-0.1	-31.8%	4.1	-2.3p
子会社合計	41.0	-4.3%	7.5	-6.2%	18.1	-0.6p

※単位は億円 四捨五入して記載 前年比は、%表記

海外グループ会社の状況（連結調整前）

関係会社業績（連結調整前）（第1四半期）

		売上高		営業利益		当期利益		設備投資		減価償却費	
		2026年度	2025年度	2026年度	2025年度	2026年度	2025年度	2026年度	2025年度	2026年度	2025年度
青島有明食品有限公司	(換算レート)	(@23.11)	(@20.59)								
	千元	64,780	78,168	11,736	15,784	9,741	10,788	225	259	2,569	2,664
	百万円	1,497	1,609	271	325	225	222	5	5	59	55
台湾有明食品股份有限公司	(換算レート)	(@4.99)	(@4.51)								
	千元	185,397	178,102	51,153	50,575	43,560	42,589	609	840	8,765	8,900
	百万円	925	803,241	255	228	217	192	3	4	44	40
F.P. Natural Ingredients SAS	(換算レート)	(@183.41)	(@162.08)								
	千ユーロ	3,643	3,395	360	487	401	507	12	361	261	199
	百万円	668	550	66	79	74	82	2	59	48	32
Ariake Europe NV	(換算レート)	(@183.41)	(@163.24)								
	千ユーロ	6,029	6,056	36	△ 157	49	△ 692	302	493	657	756
	百万円	1,106	982	7	△ 25	9	△ 112	55	80	120	123
Henningsen Nederland BV	(換算レート)	(@183.41)	(@163.24)								
	千ユーロ	7,202	6,645	1,343	1,675	1,050	1,318	114	79	169	16
	百万円	1,321	1,077	246	272	193	214	21	13	31	3
PT. Ariake Europe Indonesia	(換算レート)	(@0.0091)	(@0.0091)								
	百万ルピア	20,764	18,084	1,878	620	1,787	756	1	1	2	2
	百万円	195	165	18	6	17	7	12	7	17	16

□ フランス 連結調整対象外（欧州域内）売上高対前年＋11%（€ベース）

□ ベルギー 連結調整対象外（欧州域内）売上高対前年＋6%（€ベース）

※共に連結調整時にAJ仕入れで差し引かれるため、時期ずれにより調整額が大きくなっております。

2027年3月期計画

※子会社は連結調整後

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	2027/3期 計画 (A)	2026/3期 実績 (B)	増減 A-B=C	増減率 C/B	2027/3期 計画 (A)	2026/3期 実績 (B)	増減 A-B=C	増減率 C/B
アリアケジャパン	491.0	482.1	8.9	1.9%	76.0	82.1	△ 6.1	△ 7.4%
子会社 計 ※	201.3	187.5	13.8	7.4%	36.5	35.8	0.7	2.0%
アジア	107.3	99.9	7.4	7.4%	25.2	24.3	0.9	3.7%
欧州	91.0	84.6	6.4	7.6%	11.2	11.4	△ 0.2	△ 1.8%
日本	3.0	3.0	0.0	0.0%	0.1	0.1	△ 0.0	0.0%
連結	692.3	669.6	22.7	3.4%	112.5	117.8	△ 5.3	△ 4.5%

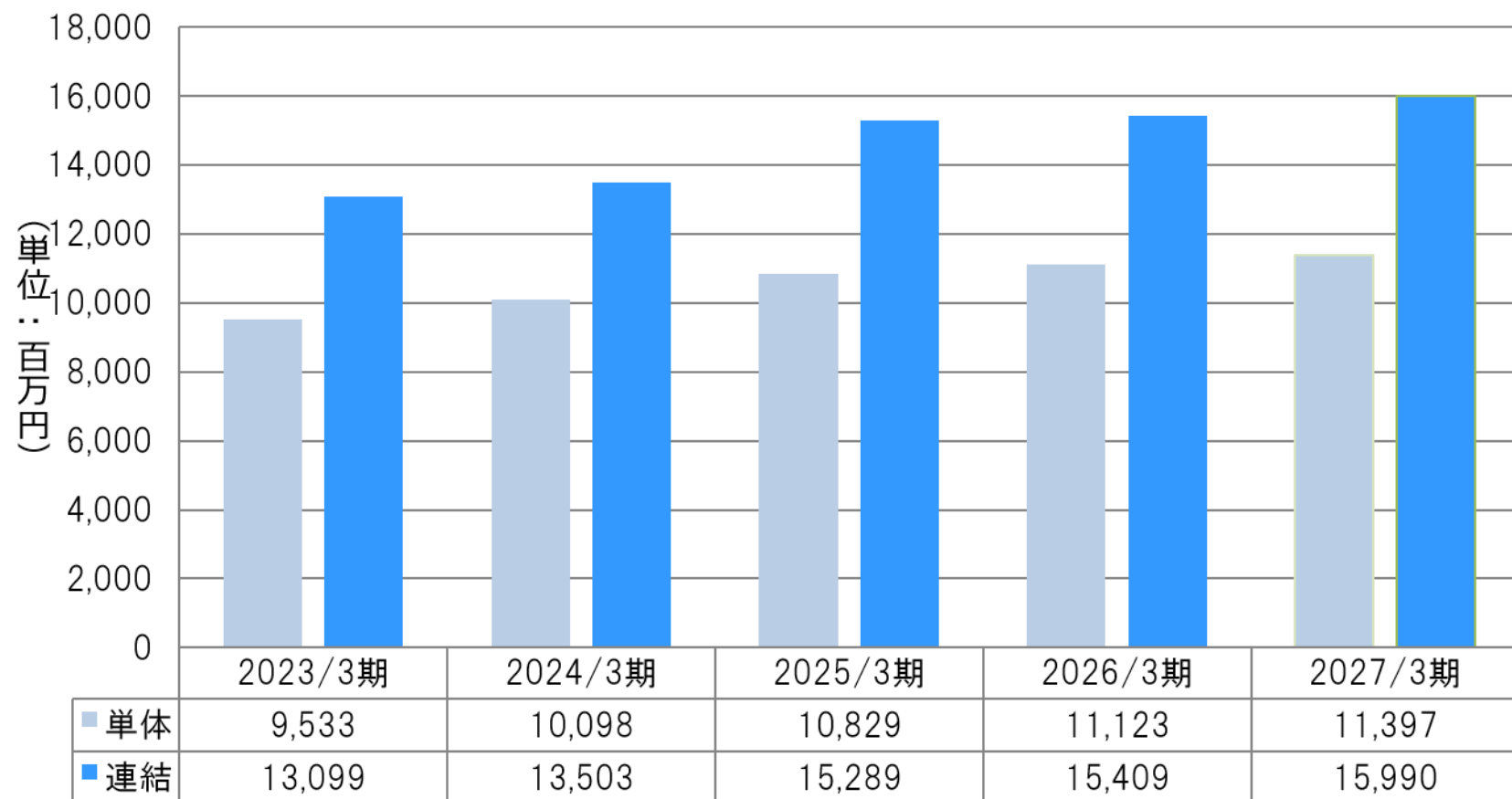
EUR	184.33	184.33	0.00
人民元	22.36	22.36	0.00
台湾ドル	4.98	4.98	0.00
ルピア	0.009	0.009	0.000

連結営業利益率16.2% 前年17.6% -1.4p
 単体営業利益率15.5% 前年17.0% -1.5p

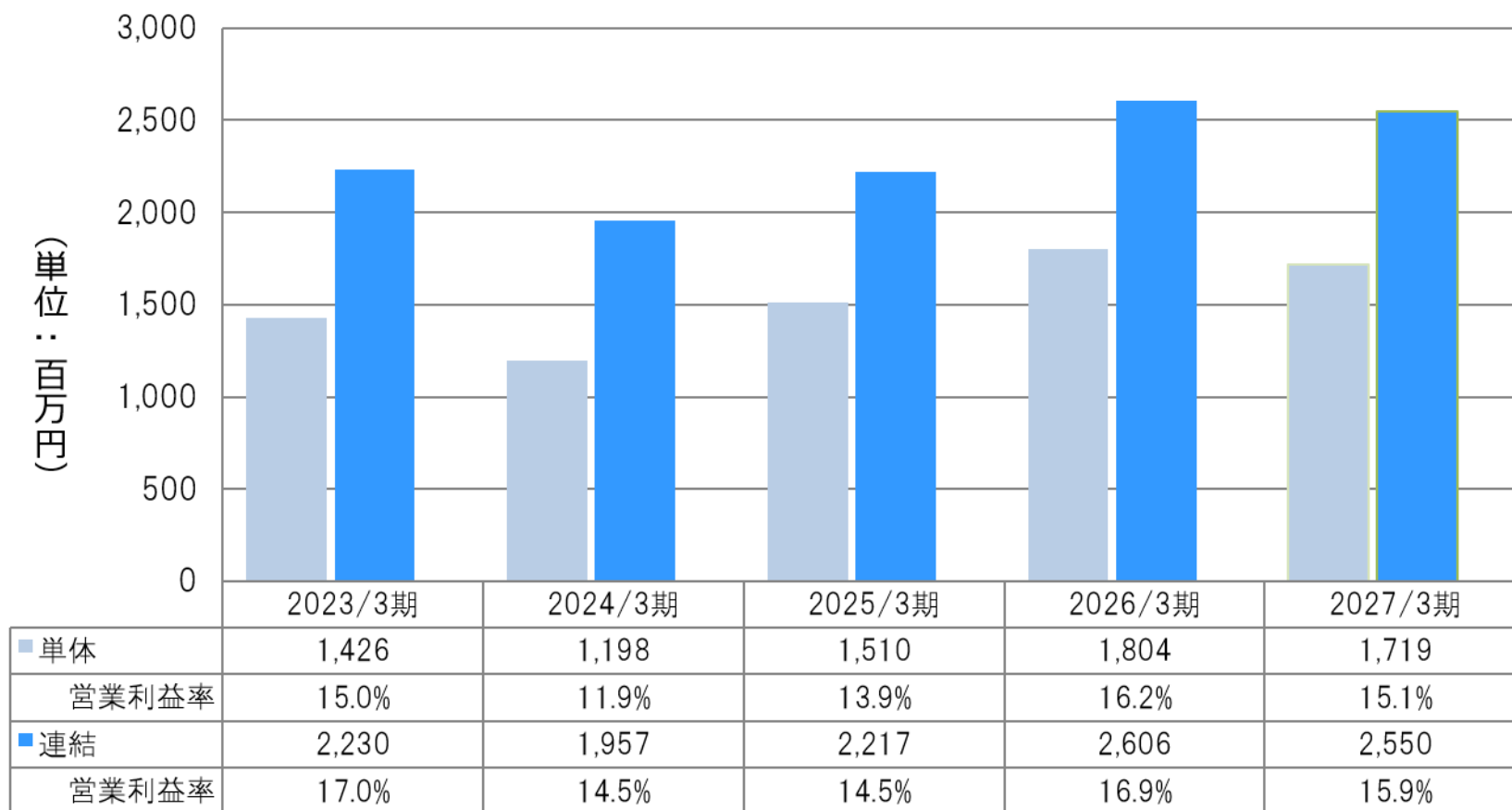
連結経常利益	131.6億円	対前年 -4.4%
純利益	95.5億円	対前年 +1.0%
単体経常利益	88.8億円	対前年 -12.0%
純利益	62.0億円	対前年 -14.2%

年 次 資 料 （ 5 年 ）

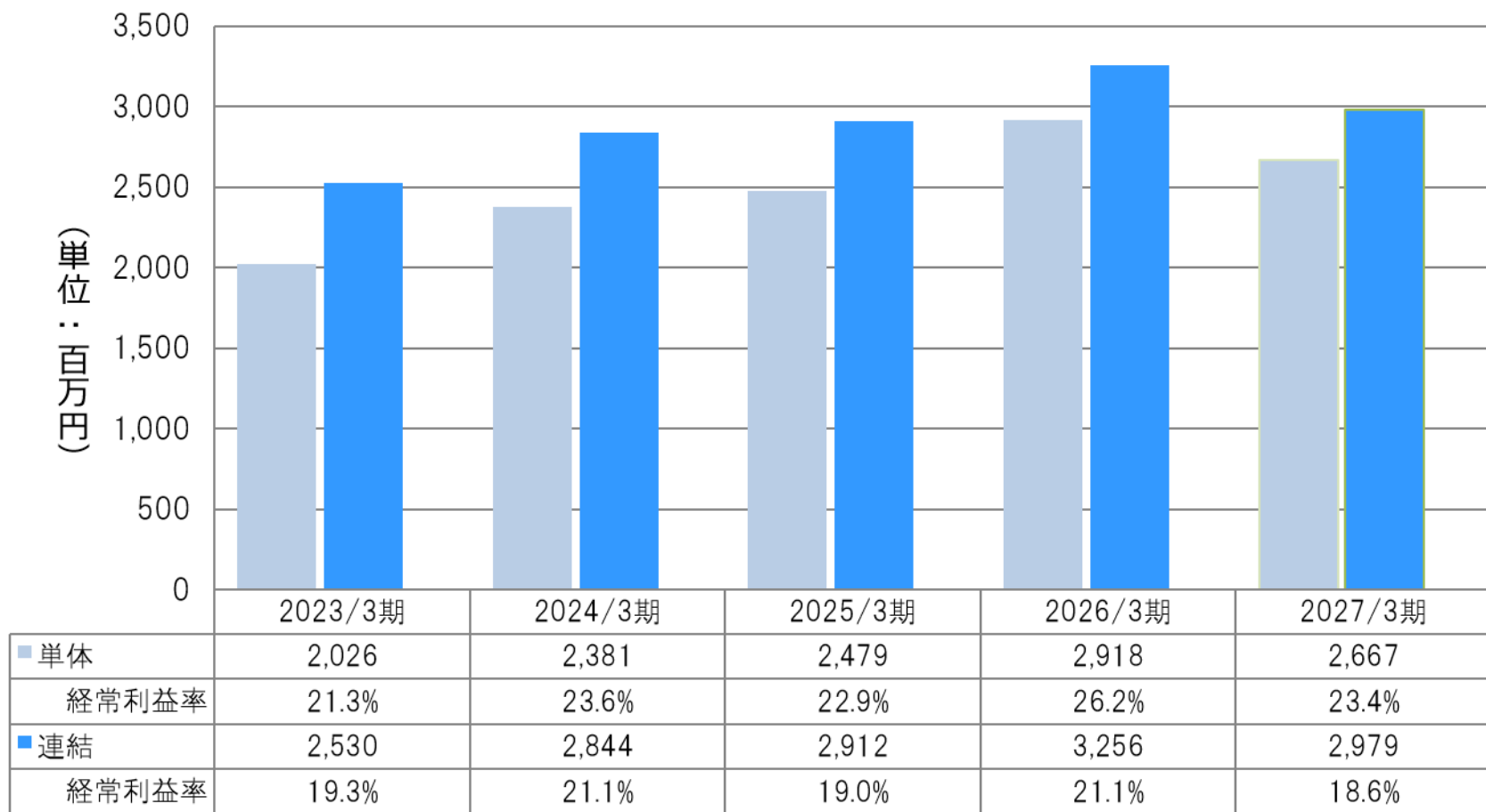
第1四半期 売上高の推移（単体・連結）



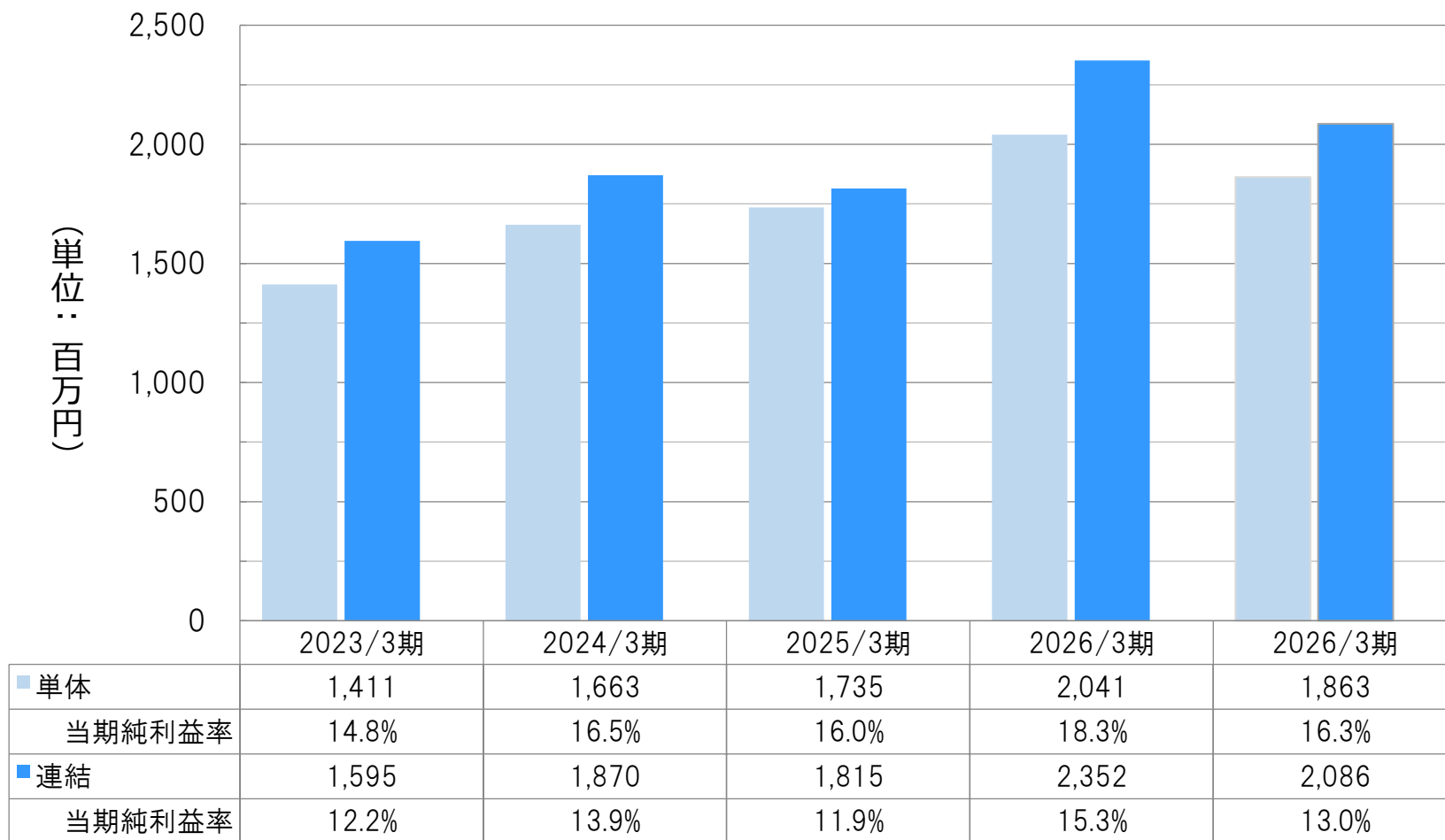
第1四半期 営業利益の推移（単体・連結）



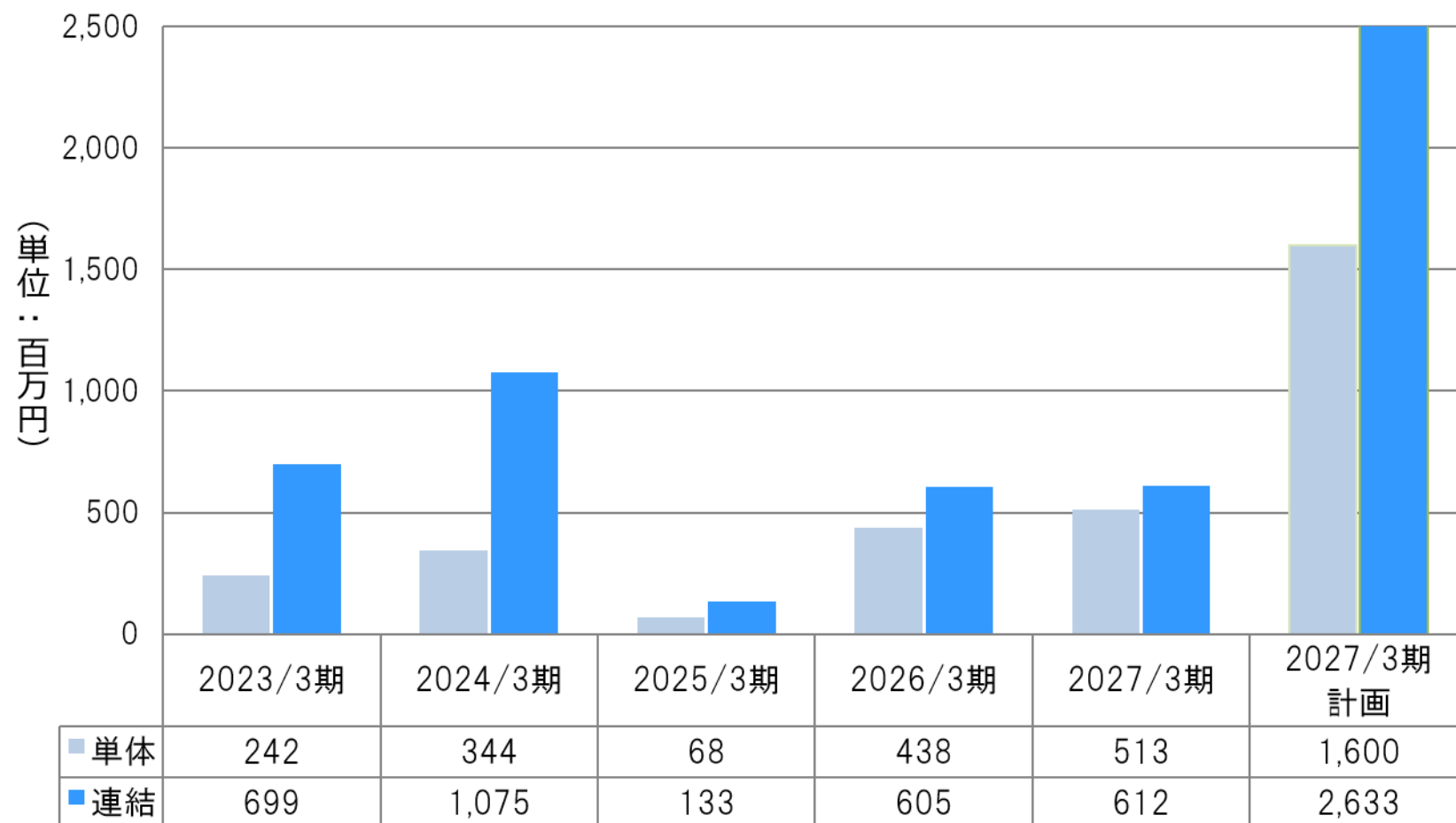
第1四半期 経常利益の推移（単体・連結）



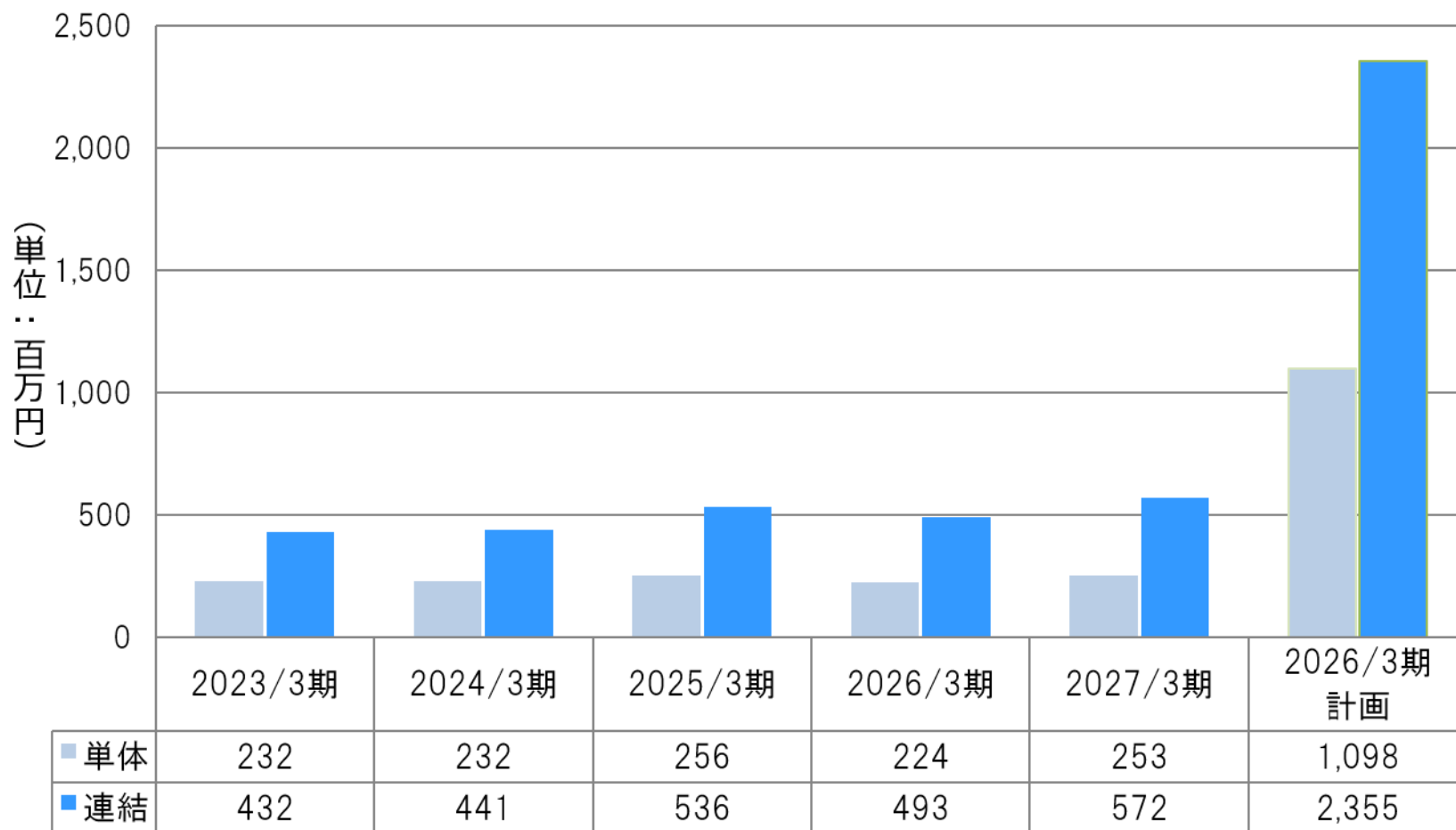
第1四半期 親会社株主に帰属する当期純利益の推移（単体・連結）



第1四半期 設備投資の推移（連結・単体）



第1四半期 減価償却費の推移（連結・単体）



- 本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料に記載されている業績予想（計画）及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。これには為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上、収益性、設備投資、その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況、疫病や健康問題の影響など、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績は異なる場合があります。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。